



顔真卿(七〇九〜七八五)

唐の時代の建中告身帖を倣書で書いています。

顔法と呼ばれる技法です。

太い点画を基調としていて雄大でかつ重厚な

線と向勢のどっしりとした字形です。

点、止め、払い、はねには特徴があります。

かんしよよ なが よろこ  
観書夜の長きを喜び

読書には冬の夜の長きがよい

(劉傳の詩)